

# 平成22年度施政方針と 当初予算

平成22年度は新しい町の総合計画がスタートを切る年であり、これまで、町民アンケートや座談会を通して、本町に住んでおられるかたがたの声を聞きしてきました。さまざまな課題が山積する中ではありますが、共創のまちづくりを基本に、町民の皆さまとともに進める第5次総合計画にしていきたいと考えています。そして、皆さまの笑顔が輝き、「住んで良かった」と感じていただけるような魅力のあるまちづくりに取り組んでいきます。

また、本町発展のためには何としても必要である過疎制度について、このたび現行の「過疎地域自立促進特別措置法」が6年間延長されることとなり、本町も引き続き地域指定が受けられることとなりました。これも皆さまの多大なるご協力のおかげであり、心から感謝申し上げます。中央対地方あるいは過密に対する過疎という視点から、自立する基礎自治体としてまちづくりを行っていかねばならないと強く感じているところであります。

就任以来1年5か月が過ぎ、このように、新しいまちづくりが始まる年に、あらためて就任時の初心に立ち返り、町民の皆さま一人ひとりの命と、安全で安定的な暮らしを第一とする地域再生が求められているとの認識に立ち、町民の生活と福祉の向上、さらには幸せを願いながら諸施策の実現に向け、一生懸命取り組んでまいりますので、皆さまのご協力を賜りますようお願いいたします。

白鷹町長 佐藤 誠 七



## 施策の概要

### 1. 安心で住みよいまちづくり

#### 【出産・子育て支援】

○平成21年度から実施している子育て支援医療事業を、「しらかが元気づけ子事業」として対象者を中学生まで拡充し、出生から中学卒業まで医療費を無料にします。

○「ニコニコマタニティライフ応援事業」を創設し、出産に係る経済的負担の軽減を図るなど、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めます。

○保育関係では、一層の保育サービスの向上に努めるとともに、保育所民営化に向けた取り組みを進めます。

#### 【保健・福祉・医療の充実】

○高齢者のかたがたが健康で活動的な生活を送ることができるよう健康づくり事業や介護予防事業を進め、介護など支援が必要な時に適切なサービスが受けられるよう総合相談体制の充実に取り組みとともに、介護保険事業の円滑な運営を行っていきます。

○障がいをお持ちのかたがたが個々の状態に応じた必要なサービスを受けられ、地域で自立した生活ができるよう支援します。

○生活習慣病や介護予防に着目した健診、指導を充実するとともに、新たに「肺炎球菌ワクチン接種助成事業」を行い、お年寄りの健康保持と医療費削減に努めます。

○適切な食生活や運動など健康づくりに対する正しい知識の普及啓発に努めます。

○本町医療の拠点となる町立病院については、「地域住民から信頼される病院」をめざして、外来・入院・救急診療のほか人間ドックをはじめとした各種健診、在宅支援などを積極的に行います。

#### 【環境の保全】

○白鷹町美しい郷づくり推進会議を中心に、省エネルギー対策をはじめ、ごみのリサイクル・減量化に向けた啓発や実践活動を引き続き進めます。

○地区公民館等との連携を図り、環境学習や環境出前講座を